

しず老施協

No. 57

令和2年3月発行

静岡県老人福祉施設協議会

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70
静岡県総合社会福祉会館内

TEL. 054-653-2311 FAX. 054-653-2312

E-mail: sizurossi@vesta.ocn.ne.jp

<http://www.shizu-roshikyo.jp/>

巻頭言



「令和元年台風19号に伴う災害の発生と対応を振り返って」

養護老人ホーム・特別養護老人ホーム 平成の杜 施設長 若林 久美子

静岡県内のTVニュースや新聞などで連日報道されましたが、令和元年10月12日(土)台風19号の影響により、当施設は甚大な土砂災害に襲われました。当日19時過ぎ、施設裏の水路から水が溢れたと、ご近所の方から情報が入り、2階への避難を開始。全員避難が完了した20時05分頃、食堂の窓が1枚割れ、そこから土砂が流入し、1階全体が土砂と泥水に浸かってしまいました。養護・特養、ショートステイご利用者含め全68名、誰一人怪我も無く、全員無事に避難できたことは本当に幸いで、日頃の訓練が活かされました。

その夜22時に老施協東部支部長や老施協事務局常務から、「明日から支援体制に入るので大丈夫だから」と心強いお電話をいただきました。お電話の通り、次の日の13日(日)には、近隣の施設へ特養のご利用者様25名が、その日のうちに移ることが決まり受け入れて頂く事になりました。静岡県老施協の皆様の支援協力体制は本当に素晴らしく、そのスピードときめ細やかさと温かさに感動しました。

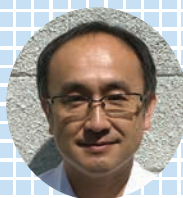
14日(月)、自衛隊110名・消防40名の皆様の力で食堂内の土砂は全て撤去され、15日(火)以降は、毎日30名～40名のボランティアの方が各地から集まり、居室内の泥の除去、備品の運び出しや洗浄など、多大なご協力を頂き、みるみるうちに復旧することができました。現在は、工事が始まり、2月初めから特養エリアや食堂が使えるようになりました。この、4か月間、職員は全てが手探りで緊張の毎日が続いたと思いますが、明るく強く本当に良く頑張ってくれました。災害のその日の夜から、水が出ない、トイレが使えない、その状

況の中、食事提供、衛生管理、体調管理をしていくことは本当に日々戦いでした。また、特養の方が少しずつ戻られてからは、大型洗濯機や特浴槽、電動ベッドあらゆる物品が無い中での介護となりました。災害からひと月後もふた月後も東部支部長からお電話頂き、今困っていることは何か、必要な物は何か、と途切れないご支援を頂きました。こんなにありがたいことはありませんでした。

今回の災害でとても多くのことを勉強させて頂きました。一番に感じたことは、よく言われる当たり前の事ですが、やはりマニュアルが大事ということです。

そのマニュアルの内容が、最近の地球温暖化に伴う異常気象にに応じているか、南海トラフ大地震に応じているか、自施設に起きるかもしれない大きな災害をできるだけリアルに想像してみて、マニュアル作りや訓練をすることが大事ということ学びました。また、災害後の事業継続のためのマニュアルと訓練も必要です。そして何より地域の方や近隣施設の皆さん、老施協事務局の方や会員施設の皆さんと普段から顔の見える関係作りをして仲良くしていることがとても大事ということ学びました。さらに、この災害を通して改めて感じたことは、施設で働く職員さんは、なんて強くて優しくて明るくて素敵な人の集まりなんだろうと、とても頼もしい気持ちでいっぱいになりました。まだまだ課題が山積みですが、職員一同張り切って頑張ります。この度たくさんのご協力を頂いた皆様に心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。

地域包括支援センター及び地域包括ケアに関する実態調査（調査結果から）



地域ケア委員会委員長

杉山 昌弘

（社会福祉法人 信愛会 天間荘施設長）

私共地域ケア委員会は、以前は在宅委員会として主に各施設の在宅系サービスに従事する職員向けの調査や研修などを企画しておりましたが、平成29年度より在宅サービスのみならず、地域包括ケア推進のための委員会として新たなスタートを切りました。そういった経緯から、今回は従来の在宅委員会ではあまり取り扱ってはこなかった地域包括支援センターに着目し、昨年度末、「地域包括支援センター及び地域包括ケアに関する実態調査」を実施することとなりました。

地域包括支援センターは地域包括ケア実現のために非常に重要な機関です。しかしながらその活動内容は具体的に県民の皆様に周知されているとは言い難い状況です。その原因は、そもそも地域包括支援センターは市町の委託事業であり、市町が主体となり、地域の実情を踏まえて事業内容や担当圏域、市町の関与の仕方などが決定されていることにあるため「同じ地域包括支援センターでも市町によって内容が違う」という実態にあると考えられます。今回の私共の調査はそういった包括支援センターの実態を明らかにするという目的により、地域包括支援センター連絡協議会との共同で県下160箇所の包括支援センターに対し行ったもので、恐らくこの規模で実施されるのは初めてだと思われます。

この寄稿の中で、その内容すべてを説明することはできませんが、全体を通しての印象として、地域包括支援センターの業務内容は多岐に及び、地域によって職員が負担に感じることや問題として感じる点も様々だということが分かりました。

地域包括支援センターの事業内容は、厚生労働省老健局通知によれば、包括的支援事業として①総合相談支援業務、②権利擁護業務、③包括的・継続的ケアマネジメント支援業務とされていますが、市町によって、在宅医療・介護連携推進、生活支援体制整備、認知症総合支援なども委託されています。加えて介護予防支援事業も、包括支援センターの業務となっています。

これらの事業をどのくらいの人口を対象に何人の資格者で実施していくか、また介護予防支援事業もどのくらい直接対応可能で、どの程度を地域の居宅支援事業所へ委託するかなどの内容もすべて市町の方針によって変わっています。

例えば、今回の調査でも、「包括的・継続的ケアマネジメント支援業務」について、圏域の居宅介護支援事業所の主任介護支援専門員と協働していこうという目的は一緒ですが、その方法としては「介護支援専門員同士のネットワーク構築」をしていると答える事業所もあれば、「地域ケア会議の推進」と答える事業所もあり、多種多様で主たる方法の傾向は絞れませんでした。また地域ケア会議についても、まず会議のテーマも高齢者の認知症から経済的問題まで様々なものがあり、全域で主たるテーマの傾向は絞れず、地域によって課題が多様であることがわかりました。加えて介護予防支援事業については、取り扱うプラン数はその包括の担当する圏域の人口や高齢化率の差や、圏域内に委託できる居宅の有無などによっても、包括の負担の差は大きく異なってしまうことも分かりました。

私は、地域の実情に合わせて、包括支援センターのありようが変わるのは当然だと思いますが、権利擁護や介護予防など県民の福祉に直結する事業などはやはり県民に等しく同様のサービスが提供されるべきと考えています。加えてスタッフ数が足りず、業務多忙により対応が不十分になるようなことにならぬよう、また、地域が違って、同規模の人口を圏域に持つ包括支援センターはスタッフ数や運営費も同様になっていくべきだとも感じています。

そこで、今後地域ケア委員会としては、今回の実態調査で留まらず、包括支援センターの適切な運営について、皆で検討し、共有していく場を設け、さらにはそれぞれの地域に発信していくことを目指していきたいと考えております。今回の調査にご協力いただきましてありがとうございます。

特集2

介護施設等での外国人介護職員の就労について



企画経営委員会委員長

大塚 芳正

(社会福祉法人 美芳会 すどの杜施設長)

介護職員の不足が社会問題となっている。外国人介護人材に関する制度が変化するなか、2019年度に入り外国人採用に関する動きが目につくようになった。

静岡県は行政施策として現在就労している外国人介護職員に対する相談、出前講座、介護技術・日本語研修を実施しており、今年度外国人介護人材のマッチング事業を行った。また、静岡県社会福祉法人経営者協議会においても当老施協と共同で、県内介護福祉士養成施設協会及び県内日本語学校との情報交換と連携体制構築に向けた合同会議を2019年9月に実施した。

このような状況のなか、企画経営委員会として外国人介護職員の就労状況について急遽調査することとした。基準日は2020年1月1日である。以下は、その概要と特徴である。

アンケートは会員施設296事業所に送付し、186事業所から回答があり、回答率は63%であった。

採用決定済みの予定者を含む雇用事業所は県全体で66事業所（回答事業所の36%）、採用人数は県全体で174人、施設当たりでは平均2.6人であった。現在、約3分の1の事業所で外国人介護職員の雇用が決定していることになる。地域別では東部24事業所（36%）、中部12事業所（24%）、西部30事業所（43%）であり、地域による違いがうかがわれた。

国籍は、多い方からフィリピン（東部7人、中部8人、西部37人、県全体52人）、ベトナム（東部17人、中部3人、西部12人、県全体32人）、中国（東部8人、中部8人、西部6人、県全体22人）、ブラジル（東部7人、中部1人、西部11人、県全体19人）、インドネシア（東部4人、中部11人、西部0人、県全体15人）、ミャンマー（東部13人、中部0人、西部2人、県全体15人）、その他（県全体19人）であった。このうちフィリピンとブラジルは県西部が多く、ベトナムとミャンマーは県東部が多く、インドネシアは県中部が多い。国籍の地域偏在が顕著である。

在留資格はEPA36名（21%）、技能実習生48名（28

%）、特定技能0名、その他90名（52%）であった。このうちEPAは県西部に多く、技能実習生は県東部に多かった。その他の在留資格は、中南米国籍の家族帯同や日本人の配偶者等が多く、新しい在留資格制度とは別に日本に定住している方々への配慮も必要であると考えられる。

採用した年は2017年以前の11年間で53人（年あたり5人）及び2018年の22人に対し、2019年は64人であり採用が急速に活発化している。一方、外国人介護職員の雇用に不安や課題を表明している事業所もあった。また、外国人介護職員の採用の方向性を決定していない事業所は48事業所（回答の26%）と決して少ない。

これらより、外国人介護職員の採用を決めかねている事業所には、雇用の状況、制度理解の研修、技能実習生受入組合の評価の情報、などの不安解消に向けた取り組みが必要であろう。また、外国人介護職員をすでに採用している事業所には、人材定着に向けたきめ細かい配慮など、会員相互の情報共有のネットワーク形成等が必要である。企画経営委員会としては外国人介護人材について、静岡県への要望及び老施協としての取組の両者が必要であるという認識を得ることができた。



「静岡県優良介護事業所表彰制度」 —介護職員が働きやすい職場環境づくりに向けて—



静岡県健康福祉部福祉長寿局
介護保険課長

浦田 卓 靖

静岡県では、介護人材の確保や介護サービスの質の向上に向け、働きやすい職場環境づくりや、利用者本位のサービス提供などに積極的に取り組む介護事業所を表彰する「静岡県優良介護事業所表彰制度」を平成29年度から実施しています。

本制度は2つの部門からなり、「職場環境改善部門」では、離職防止や定着促進、人材育成などに積極的に取り組み、顕著な成果を挙げた介護事業所を、また、「サービスの質向上部門」では、要介護度の維持・改善や利用者一人ひとりの個性や生活リズムを尊重した介護などに積極的に取り組み、顕著な成果を挙げた介護事業所を表彰しています。

今年度は、各部門3事業所、計6事業所を表彰し、令和元年11月5日に表彰式及び事例発表会を開催したので、受賞事業所の取組を御紹介します。

◆職場環境改善部門の受賞者

法人名	事業所名	所在地
社会福祉法人 春風会	天城デイサービス センター	伊豆市
社会福祉法人 八生会	ケアハウス あんしんの里	浜松市東区
社会福祉法人 聖隷福祉事業団	介護老人福祉施設 浜北愛光園	浜松市浜北区

天城デイサービスセンターでは、法人内で実施しているトレーナー養成研修を受講した中堅職員が新人職員を指導し、相談にのる「トレーナー制度」を導入しています。新人職員の離職防止や定着促進に加え、中堅職員にとっては、指導を通して、自分の業務を見直すきっかけとなっており、双方の意識向上につながっています。

ケアハウス あんしんの里では、週4日8時間勤務や日勤6時間、夜勤8時間など、都合に合わせた働き方ができる「短時間正規職員制度」を実施しています。これにより、非常勤職員だった方も正規職員や役職員になることができ、職員が能力をさらに発揮できるようになりました。

介護老人福祉施設 浜北愛光園では、介護業務を切り分け、専門性の高くない周辺業務を地域の元気な高齢者や主婦などに「ケアサポーター」として担ってもらう取組をしています。業務を切り分けることで、介護職員の業務負担が軽減されるとともに御利用者に関わる時間が増えました。

県では、こうした優れた取組を広く県民や事業所の皆様に周知することで、介護の仕事への理解を深めてもらい、介護職への新規就業の増加につなげるとともに、介護職員の職場定着を促進しています。本表彰は来年度も実施する予定ですので、皆様も是非積極的に御応募ください。



特集4

「静岡県多文化共生総合相談センター」の開設 ～増加する外国人県民との共生のために～



静岡県くらし・環境部理事
(多文化共生担当)

河森 佳奈子

○増加する外国人県民

法務省在留外国人統計によると、2019年6月末時点で、静岡県内には、約96,000人の外国人県民が暮らしています。2015年以降その数は年々増加し、このままの傾向で推移すれば、年内には、過去最高（2008年 103,279人）を超えることが予想されます。

○新たな在留資格の創設

昨年、外国人人口の増加傾向に、拍車をかける大きな出来事がありました。国は、2019年4月1日から法律を改正し、外国人の新たな在留資格「特定技能」を創設し、今後5年間で約350万人を海外から受入れることとしました。経済界からの要請で、人手不足の解消が強く求められたからです。

受入れる外国人は、単なる労働力ではありません。我々と同じ、生活者として、日本で働きながら暮らす人たちです。

○共生のための総合的対応策 — 静岡県の対応

国は法改正と併せ、日本で暮らす外国人と日本人とが、お互いに安心して安全に暮らせる社会の実現を目指し、「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策」を取りまとめ、政府一丸となって、外国人との共生に資する様々な施策に取組み始めました。

その総合的対応策の中で、生活者としての外国人に対する支援として、「行政・生活情報の多言語化、相談体制の整備」が、暮らしやすい地域社会づくりに必要であるとされました。そのための具体的な施策として、日本で暮らす外国人が、様々な生活上の悩みを抱えた時に、身近な場所でその解決をサポートするための、一元的な相談窓口を、都道府県、市町村に設置することとなりました。その一つとして、静岡県が昨年7月に開設したのが、「静岡県多文化共生総合相談センター かめりあ」です。

○「かめりあ」概要

「かめりあ」は、静岡駅の南口すぐの「水の森ビル」2階に設置しています。＜運営：（公財）静岡県国際交流協会＞

静岡県内に居住する外国人の国籍や生活状況等も考慮し、ポルトガル語、フィリピン語、英語、中国語、ベトナム語、韓国語、スペイン語、インドネシア語に対応するための多言語相談員を配置し、土日祝日を除く平日の10時から16時まで、相談を受付けています。（言語により相談日は異なります。）日本人の相談員も毎日1名常駐し、多言語相談員をサポートしています。相談したい言語の相談員が不在の場合、タブレット端末のテレビ電話機能や電話の3者通話機能を活用し、外部の通訳会社による通訳対応も可能です。

また、県の出先機関（各健康福祉センター、東部・西部の各県民生活センター）にも、テレビ電話機能により通訳が可能なタブレット端末を配置し、外国人県民が身近な行政機関で、顔の見える形で相談をして行政サービスが受けられるようにしています。

その他、行政書士や医療関係の専門家と一緒に、「かめりあ」以外の場所出張相談も行っています。

○多文化共生の社会づくりのために

皆様の周りに、もし悩みを抱えて困っている外国人の方がいましたら、「かめりあへ相談してみたら。」と、一言、声を掛けてあげてください。

「多文化共生」の社会づくりは、皆さん一人ひとりのおもいやり、気遣いに支えられています。

お問い合わせ 静岡県多文化共生課
電 話 054-221-3316
電子メール tabunka@pref.shizuoka.lg.jp

かめりあ

在留資格（日本に いるために 必要な 資格）、仕事、日本語の 勉強、健康保険
税金、子どもの学校、病院 など ほかに 困ったことが あったら 相談してください

Tel / 054-204-2000 FAX / 054-202-0932 URL / <http://www.sir.or.jp/>
Mail / sir07@sir.or.jp Line / [sirlinejp01](https://line.me/tv/p/sirlinejp01) Facebook / Adviser Shizuoka
Skype / siradviser Messenger / @adviser.shizuoka

公益財団法人静岡県国際交流協会
〒422-8067 静岡市駿河区南町14-1 水の森ビル2階

相談できる 言葉と 時間と 曜日

午前10時から 午後4時まで 相談に お金は かかりません
その他 毎日 通訳会社を使った 相談ができます

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
① ポルトガル語		●			●
② スペイン語		●			●
③ フィリピン語	●				●
④ 中国語	●		●		
⑤ ベトナム語		●		●	
⑥ インドネシア語			●	●	
⑦ 英語	●		●	●	●
⑧ 韓国語			▲ 月に2回		

新人職員紹介

どうぞよろしくお願いします

シャローム富士川

(富士市)

- ① 山口文也(ケアワーカー)
- ② 社会人になって初めてもらったボーナスで両親を旅行に連れていけたこと。
- ③ 梅原大吾(プログラマー)
- ④ 当たった1億円でまた宝くじを買います。
- ⑤ 入居者の方や職員も居心地が良いと思えるような施設になるように努めていきます。
- ⑥ 家から近く通いやすい為。



ケアハウス富士の里

(富士市)

- ① 牧野みのり(介護職)
- ② 12月26日の木曜日のレクリエーションでカラオケがあり、そこで初めて嵐のONE LOVEを歌いました。利用者に褒められて嬉しかったです。
- ③ 嵐です。東京ドームのコンサートに行き、とても元気をもらっています。
- ④ 東京の最上階のマンションに住み、ベンツを買って、残りは貯金します。
- ⑤ 今後、報告・連絡・相談がしっかりできる職場にしていきたいです。
- ⑥ 高校生の時に企業訪問で、職場の雰囲気良かったのでこの施設に決めました。



羽鳥の森

(静岡市)

- ① 柿平名奈里
- ② 新しく入った入居者様に宜しくねと笑顔を頂いたこと
- ③ 氷川きよしさん
- ④ 施設の空いたスペースに象を飼います。キリンでも良いです。
- ⑤ 笑顔溢れる施設にしたいです。
- ⑥ 働きやすさと魅力的なスタッフが多いから。



登呂の家

(静岡市)

- ① 鈴木紘也(ケアワーカー)
- ② じつは、この間、誕生日でした！友人に祝ってもらいました。
- ③ 吉岡里帆さん、坂本勇人選手
- ④ 旅行に少し使って、後は貯金します。
- ⑤ 施設の全体像を語ることは、1年目の私にはできません。ニコニコ、良い雰囲気の中で働けたら良いと思います。
- ⑥ 見学に行った際の対応が良かったため、この施設(法人)に決めました。



百々山

(浜松市)

- ① 竹下柚紀(ケアワーカー)
- ② 車を購入したこと
- ③ 本田圭佑
- ④ 海外旅行、貯金
- ⑤ 利用者様や職員が笑顔で活気あふれる施設にしていきたい
- ⑥ 高齢だけでなく、障がいなどさまざまな施設があり、勉強になるため



燦 光

(湖西市)

- ① エルフェ・ジェッフェルソン・バレステロス(介護職)(フィリピン)
- ② 近くの施設で働いている妻とお出掛けができたこと。
- ③ コービー・ブライアント(バスケット選手)
- ④ 自転車のお店を開業したい。
- ⑤ 利用者様が自分の家にいると感じる施設にしていきたい。
- ⑥ 妻が働いている施設に近いから。静岡県の気候が温暖だから。



各施設の新人職員にお聞きしました。

- Q ① 氏名・職種 ② 最近あったうれしいことは ③ 好きなタレント、スポーツ選手
④ もし宝くじで1億円当たったら何に使いますか ⑤ 今後どんな施設(職場)にしていきたいですか
⑥ 施設を選んだきっかけや決め手は何ですか

静岡県老施協西部支部の活動紹介

新卒介護職員と新ユニットリーダーとの対談

社会福祉法人 七恵会 介護老人福祉施設 浜松中央長上苑

平成26年開設。入所120名、ショート20名、デイ、訪問看護、居宅支援事業を実施。

同敷地内に保育園とサービス付き高齢者向け住宅を併設し、0歳から100歳オーバーの多世代が支え合い輝きあう場となっており、静岡県「ふじのくに型福祉サービス」として紹介された。

地域交流・地域貢献にも積極的に取り組み、利用者・家族・地域住民の幸せが溢れる場となっている。

坂井田：今回は浜松にあります介護老人福祉施設「浜松中央長上苑」に来ております。

入口にはカフェがあり地域の皆様にも開放されたとても素敵な施設です！

12月からユニットリーダーの役職についた伊藤一輝さんと4月に大学を卒業し入職した那須田有紗さん二人にインタビューさせていただきます。宜しくお願い致します！

伊藤・那須田：宜しくお願いいたします！

坂井田：介護の仕事に就いてみようと思ったきっかけと入ってみての第一印象は？

伊藤：機械科の高校で、機械をいじっているのが楽しくなかったんです（笑）

就職のとき先生に「人と関わり役に立つ仕事をしたいんです。」と相談しました。その中で「浜松中央長上苑」からの求人があり、体験・見学・雰囲気がとても良かったのでここでやってみようと思いました。

印象は自分が思っていた高齢者は物忘れや徘徊程度のおばあちゃんでしたがイメージ以上で「あっ…人ってこうなっちゃうんだ…」と純粋にリアリティショックを受けました。

那須田：食べるのが好きでパティシエを目指してました（笑）。就職を決めるときに陸上部のマネージャーで人のサポートをするのが楽しかったこと、高齢者がショッピングセンターでアイスを食べてるところを見



た時なんかいいなあとほっこりとした親近感を感じたことを思い出し、高齢者サービスの道もありかな？と思ったのがきっかけです。

坂井田：仕事でやりがいを感じているところは？

伊藤：お礼を言われたときが一番嬉しいです。出勤時「ああ！今日一輝さん来てくれたや！うれしい！助かる！」と言われると自分がやった結果のアンサーがお礼。一番やりがい感じる瞬間ですね。

那須田：私も同じで、いろいろやらせていただいて、感謝される、「ありがとねー」っていう一言、やっぱり嬉しいです。

坂井田：今まででとびきり嬉しかったことは？

伊藤：看取りの方が早番中に肩呼吸になり看取りで連泊していた娘さんに「お別れの時が近づいてます。」と一緒に看取りました。亡くなった瞬間に娘さんお孫さんが泣きながら「伊藤さんが来るとおばあちゃん、とても嬉しそうだった。本当に本当に伊藤さんにお世話になったよ」とお礼と感謝をいただいたのが一番印象に残り、自分がやってきたことが本当に良かったと誇れる瞬間でした。看取りは難しく「何を望んでいるのか？」「やっていることが本当にその方のためになっ



ているのか?」「自己満足になっていないのか?」を深く考えます。初めての看取りで娘さん達と前向きに携われたのでとても良い経験になりました。その後も看取りの経験を沢山し、苦手意識のあった看取りがいつ最期の時が来ても大丈夫!な心構えになりました。

那須田: 感情的になる利用者様に対し先輩職員から「人見知りをする方だから最初の内はタイトだけど、慣れてくれば大丈夫だよ」と言われたのですが、関わる時冷や汗が出るくらい緊張し嫌でした。毎日関わる中でふと「打ち解けていただいた!」と感じたときは凄く嬉しかったです。今では笑顔で話ができる信頼関係が持てるようになりました。

坂井田: 悩んだ時の先輩達からのアドバイスなどは?

伊藤: 自分の技術が大丈夫なのか不安で、自分が早番の後に遅番で入った先輩に「自分のオムツ交換上手くできてましたか?」と聞くと先輩は「大丈夫!上手くできてたよ」とすぐに答えていただいたのは凄くやる気に繋がりました。経験豊富な先輩ばかりで仕事ができる人達ってこんな人達のことなんだと感じました。聞けばすぐに答えてくれる。とても新人としても仕事がしやすい覚えやすい環境です。

坂井田: 辞めたいと感じたことや日々心掛けていることは?

伊藤: 1年目の6月頃に入院していた2名が退院して来て看取りの不安や一気に業務が増え間に合わなくなり「つ・辛すぎる…」と感じ辞めちゃおうかなって考えました。でも続けられたのは大変だから辞めるってどうなのかなって。先輩に不安や愚痴を言うと、それを消してくれるアドバイスをいただけるんです。気が

付くと「辞めたい」の気持ちは無くなってました。今では少々なことがあっても「あの時に比べたら、どうってことはない」と感じる自分がいます(笑)心掛けていることは、出勤したら声掛けをし、その方のいつもの違いを確認していますね。

那須田: 悩んだ時には大学の介護を学んだ友達に相談しています。友達と話をしていると悩みが無くなります。心掛けていることは、現場は教科書通りではなく一人ひとり深く関わらなければ分からないこと、一日一日の些細なことや細かいことを気付けるようにしています。

坂井田: 介護の仕事は好きですか?又、点数をつけると何点になりますか?

伊藤: 「70点の好き」です。12月にユニットリーダーになり、まだどんなユニットにしたいのか明確な目標を出せていないのです。早くユニットリーダーとしての目標が明確になり仕事を安定させ利用者様や職員を安心させたいなと感じています。

那須田: 「80点の好き」です。まだ自分がこうなりたいという明確な目標がないので、介護の仕事を頑張り見つけたいなと思っています。自分が絶対こうした方がいいと思ったことがあっても、周りの意見を聞いて揺らぐこともあるので個人ではなくチームで支えなくてはと思います。

坂井田: 元ラグビー部主将と元陸上部マネージャーのいるユニットなら最高のチームケアができますね!

伊藤・那須田: はい!

坂井田: 本日は元気が出るお話を聞かせていただきありがとうございました。



令和元年度老施協活動報告

正副会長の活動

1月7日新年挨拶のため川勝知事を訪問しました。



種岡養一 石川三義 川勝平太 奥津匡俊 前田万正
副会長 会長 知事 副会長 副会長

2月17日台風19号災害に会員の皆様からいただいた義援金の一部を、県社会福祉協議会災害派遣福祉チーム（静岡DCAT）活動支援のために寄付しました。皆様の御協力に感謝申し上げます。



石川三義会長から松浦康夫県社協常務理事に贈呈

「介護の日」啓発活動

11月11日「介護の日」に3支部の役職員総勢170人余が幟旗を立てメインキャラクター『ケアットちゃん』と三島、静岡、浜松の駅広場にて啓發文入りのグッズを通行客に手渡ししながら啓発活動を行いました。



東部支部（三島駅）



中部支部（静岡駅）



西部支部（浜松駅）

広報委員会からのお知らせ

広報委員会にてHP担当をしております大塚です。今回、平成から令和へと元号が切り替わり、静岡県老人福祉施設協議会のウェブサイトも更新を予定しております。平成30年より広報委員会にて会員の方々にとって「使いやすい」ウェブサイトについて検討、協議してまいりました。

コンテンツとしては、老施協の研修企画の案内や会員施設の一覧、委員会等で実施した調査研究の資料、研究大会の発表施設の資料などを予定しております。

現在は令和2年3月31日よりサイト切り替えになるようにスケジュールしております。

令和2年度もすこしずつコンテンツを拡充するよう委員会一同改善に取り組んでいきます。

皆様も当サイトをご覧頂き、切り替わった静岡県老人福祉施設協議会ウェブサイトコメントやご意見いただければ幸いです。

サイトURL <http://www.shizu-roshikyo.jp/>



※切り替え後ウェブサイトのトップページイメージ



静岡県老人福祉施設協議会ウェブサイトのQRコード

【老施協】 ☆印は予定

- ★元年11月21日 自民党県連3役との打合せ
- ★元年11月21日 県介護保険課長との打合せ
- ★元年11月27日 事業推進検討会議
委員会のあり方、任期満了に伴う役員・委員改選、
関ブロ研究総会開催状況について
- ★元年11月27日 県介護福祉士養成施設協会との意見交換会
- ★元年12月10日 第3回理事会

【協議事項】

委員会委員の補欠の選任、関ブロ研究総会事業報告・決算、任期満了に伴う役員・委員会委員の改選について

【報告事項】

介護の日啓発活動、防災訓練実施状況について

- ★2年2月17日 事業推進検討会議
2年度支部・委員会活動計画案の調整等について
- ☆2年3月10日 第4回理事会
新役員案・新委員の決定、定例総会運営進行の確認
- ☆2年3月19日 第5回理事会
現役員、新役員（予定者）顔合わせ、定例総会運営進行の確認
- ☆2年3月19日 第2回総会
役員選任（次期会長選任）、2年度事業計画案、一般会計収支予算案について

【企画経営委員会】

- ★元年11月21日 第5回委員会
全体打合せ（委員会のあり方・2年度活動計画案）、
チーム別打合せ
- ★2年2月13日 第6回委員会
外国人介護人材アンケート調査、2年度活動計画案について

【広報委員会】

- ★元年12月6日 第3回委員会
ホームページ充実に向けた検討、しず老施協57号の企画について

【研修委員会】

- ★元年11月7日 総合社会福祉会館

人材育成研修会 初級・中級編

*講師 ふくしえん社労士事務所代表 後藤功太氏

- ★元年9月6日 第4回委員会
県外研修、施設長研修、企画研修について
- ★元年11月15日 第5回委員会
県外研修、施設長研修、人材育成研修の実施状況、
企画研修について
- ★2年1月29日 第6回委員会
施設長研修、2年度活動計画案について
- ☆2年3月19日 施設長研修会

【21世紀委員会】

- ★元年12月5日 第5回委員会
学生セミナー、カントリーミーティング等について
- ★2年1月17日 第6回委員会
学生セミナー、カントリーミーティング、2年度活動計画案について
- ☆2年3月12日 第7回委員会
学生セミナー、2年度活動計画案等について

【関東ブロック老人福祉施設研究総会実行委員会】

- ★元年11月13日 第11回委員会
関ブロ研究総会について

【高齢者福祉研究大会実行委員会】

- ★元年11月13日 第1回委員会
11回研究大会について
- ★2年2月5日 第2回委員会
キャッチフレーズ、講師、開催要綱等決定について

【養護委員会】

- ★元年12月6日 第3回委員会
次年度役員、実態調査結果、事業報告案について

【特養委員会】

- ★元年12月3日 第4回委員会
啓発チラシの作成、関ブロ研究総会発表施設の推薦、
2年度活動計画について

【軽費委員会】

- ★2年2月10日 総会・施設長研修会

【地域ケア委員会】

- ★2年1月10日 第3回委員会
2年度活動計画案について

編集後記

ストレス発散と運動不足から始めた朝の散歩。5年前に地元の祭りの打ち上げの席で、「駅伝に出ない？」と誘われたのをきっかけに散歩からジョギングに格上げに。気付けば毎年この時期に参加するようになりました。走り始めた時は100mも走れなかったのが、5キロ 10キロ 15キロと徐々に走れるようになっていき、マラソン大会に参加するまでに。ただ走るというマラソンには全く興味が無かったのに、テレビで放送されれば欠かさず見て、周りに走っている人がいると自然に会話がはずみ良い仲間になっていきました。さて、今年の駅伝大会。昨年に引き続き5区を任されま

した。5区は田んぼの真ん中を走るため、風が強い、応援も少ない、距離が2番目に長いとあって、いつも不人気の区間ですが、その分気楽に走れます。「さてさて今年のメンバー」は、とエントリー表を見て(!?) 40歳以上の登録は私一人、というかほかのメンバーは皆10代。昨年まで40歳以上が3、4人はいたのに、中年の変なプレッシャーが…結果は、無事完走し、昨年より14秒もタイムを縮めることができ、中年ランナーの底力(?)を見せられました。今年1年間このタイムが心の支えになりそうです(笑)

(社会福祉法人たんぽぽ会 小杉山)